

# 平成27年 区民のつどい開催報告

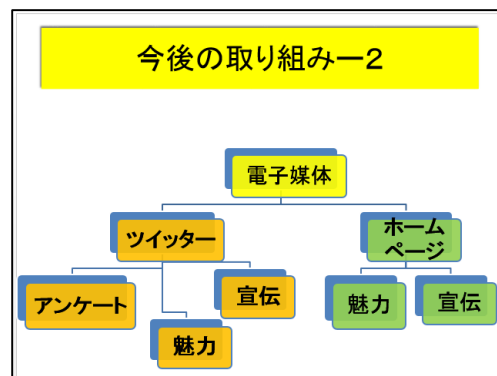
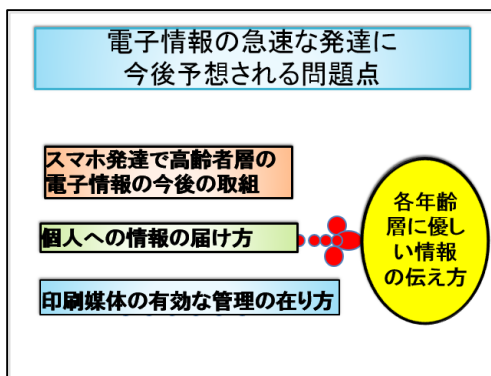
平成27年6月27日（土）神奈川公会堂にて「区民のつどい」が開催されました。当日の様様をご紹介します。

13時30分に開会し、代表委員挨拶、区長挨拶、区連長挨拶、顧問紹介、地域のつどいの説明に続き、第1部が始まりました。第1部は1年間の各部会の活動状況を紹介しました。区民協議会は一期2年となっており、今回はその前期となりますので、活動の中間地点となります。現在どのような問題点があるのか、どのように取り組んでいるのか、期のまとめに向けてどのような方向性を追求していくのか等を各部会長が発表しました。各部会活動紹介の後、質疑応答がありました。



各部会の力を入れている部分をダイジェストでご紹介いたします。

## 《やさしく情報を伝える会》



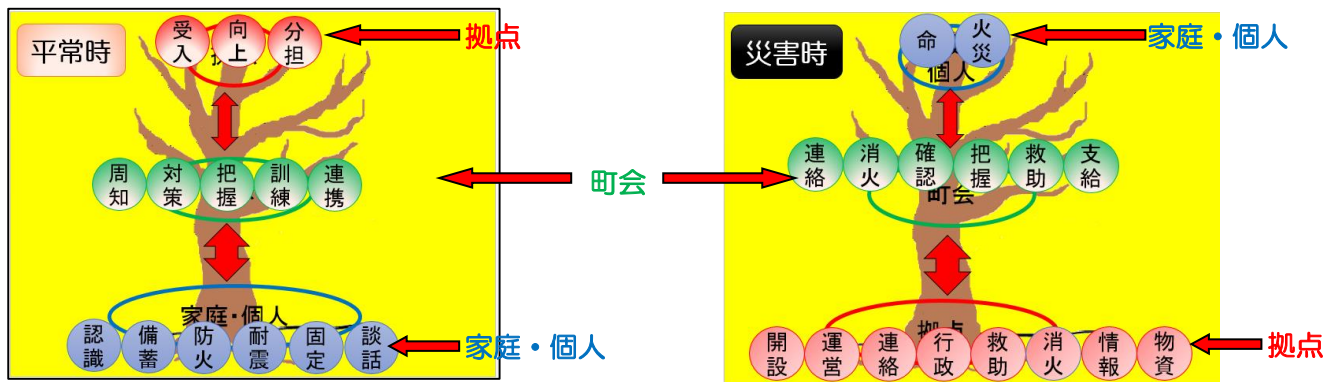
神奈川区役所は平成23年11月にツイッターを開始しました。高齢者への情報伝達には今後どのような対応が必要なのかを知るために、高齢者のスマートフォンなど電子機器の所有状況やインターネットの利用状況を調査機関のデータで検証したところ、60歳以上の方が驚くことに70%近く利用していることがわかりました。これを神奈川区に当てはめると、今後予想される問題点を解決することができれば、従来の印刷媒体中心の情報伝達から電子媒体の情報伝達への転換が時間をかけることでできるような気がします。国内での電子媒体情報伝達の最先端地域の勉強をして、この一年のガイダンスを作り、区役所などの協力を得て見通しをつけたいと思います。

## 《M・Mの会》

M・Mの会はマナーとモラルを考える会です。マナーとモラルは広範囲にわたる問題点が多いことから項目を洗い出し、多くの問題の中から、暮らしの中で一番身近なごみの問題を取り上げました。収集日や分別が守られていない、企業ごみが出される所がある、通りすがりのポイ捨てが多い、ビニール袋に入れずにネットの上に捨てる等の問題点についてやごみの種類、ごみ出しのルール、規則、違反に対する罰則等について学習しています。今後さらにごみネットの管理やポイ捨てやリサイクルの流れや効果についても学習していきます。町会や関係機関の協力をいただきながらどうしたら集積場や町内、道路等の美観が良くなるかについて活動していきたいと思えます。



## 《なまずの会》



なまずの会は、個人・家庭と町会と地域防災拠点の関係性について調査検討をしています。平常時と災害時では、その関係性に差があると思われます。今回の発表ではこの関係性を木に模してみました。一番大事な根っこの部分が平常時と災害時では逆転すること、それぞれ根や枝にやるべきことがあると説明しました。平常時の図は、いざ災害が起きてからでは何もできないことばかりです。それだけ平常時だからこそやっておくべきことを重要視することが大事ではないでしょうか。また、それぞれに「できること」と「できないこと」があります。これらを把握することによって、より「それぞれがやるべきこと」がはっきりします。この点を次年度発表したいと思っています。



第2部は「減災に絶対必要な図上訓練・D I G訓練って?」と題し、ご来場の皆さまも一緒に参加しながら進める参加型講演を島田講師が行いました。

図上訓練とD I G訓練の違い、やり方、効果を説明した後、実際に会場の皆さまにD I G訓練をしていただきました。

その後、個人・町会役員・拠点委員とそれぞれ予想される回答をお示しし、さらに必要とされる想像力

についての説明がありました。

「想像力」は「課題・問題発見力」であり、これが「創造力」＝「対応力」に繋がることを実感していただけたら幸いです。

余韻の中、15時50分に閉会となりました。来年は集大成の報告・提言を行う場となります。より良い報告・提言ができるように区民協委員一同、努力を重ねてまいります。

●～区民のつどいでは、ご来場の皆様に意見・感想票を配布させていただきました。ご提出いただいた皆様に御礼申し上げます。いただいたご意見から一部を抜粋させていただきます。～●

## 区民のつどい意見・感想票抜粋

- ・高齢者が想像以上にスマホなど使っていることにびっくりした。(情報を優しく伝える会に対して)
- ・今後の情報伝達の仕組みづくりに期待する。(情報を優しく伝える会に対して)
- ・難しい課題に取り組んでいられる状況がうかがわれた。(M・Mの会に対して)
- ・「ごみ」を題材にした身近な疑問への取り組みをして興味が持てた。(M・Mの会に対して)
- ・平時と災害時の役割の違い、木を使っでの説明わかりやすかったです。(なまずの会に対して)
- ・分かりやすかった。町会レベルでも参考にして活用できる。(なまずの会に対して)
- ・図上訓練D I G訓練、今までにない試みで、いざというときの対応の仕方が役立つ。(第二部に対して)
- ・これまで防災・減災の知識がある程度あったが、これほど、具体的、実践的な訓練で大変勉強になった。(第二部に対して)
- ・D I G訓練ためになりました。さらに想像をふくらみたい。(第二部に対して)

この他にも貴重なご意見をたくさんいただきました。次回に向け、参考にさせていただきます。

なお、行政に対するご意見・ご要望等は、調査した後、「こぶし20号」で皆さまにお知らせさせていただきます。